

事故などの後遺症で「高次脳機能障害」を抱えている方、その家族の方、一人で悩んでいませんか？

同じような体験をした仲間が集まり、語り合しましょう。

「安心して集まる場が欲しい」「少しの時間だけかもしれないけれど一息つこう」

そんな思いからスタートしました。



12月15日月例会

この日は、当事者 10 名、家族 4 名、支援者 2 名が参加しました。初参加の方が 3 名おり、各々の自己紹介、近況報告などを行いました。

A さん：1 週間後に事故から 23 年目。困っちゃうことがありすぎる、部屋をよう片付けん。でも 15 年前は困っちゃうことがわからなかった。掃除は、普段せずに徹底的にやるが、掃除の仕事をしているので、家に帰ってまでやりたくない気もあるかも。洗濯物を夕方取込んで畳んでしまうように、数日前から始めている。

支援者 A：掃除や洗濯が、継続しているか、今後は楽しみです。

B さん：12 年前に左片麻痺と高次脳機能障害。入院中にご飯の左半分を残していた。目では見えてるけど、頭の中で見つけることができない。普段生活しているところでは困っていることはありません。家族には、抑制できない、と言われる。

C さん：21 年前にバイクの事故。症状が把握できたのはソフトボールの時に、左打ちで構えてピッチャーが目に入っただけなのに気付いた時。3 年半仕事して、自分を見直そうと今は B 型を利用しています。

家族 D さん：右半盲の理解までに 8 年かかった。事故の前後のことは覚えているはずがなく、周りが話したことが入っている。高 1 の時のことは殆ど覚えていない。

C さん：（抑制が効かないことは）自分が面白いと思うことを話し始めると止まらない。自宅から事業所まで歩いて行って、おさまらない時は帰りも気分転換に運動（＝歩いて帰宅）して、風呂に入って、ストレッチして正座して反省している。

E さん：バイクで事故、右半分が動かんと言われていたが、ここまで動くようになり、自転車にも乗れるようになって、ここで働いている。高次脳機能障害と不安障害になり、ひきこもっていた。抑制という点では、怒りが止まらないということ。怒っているのがわからん位、脳がイラッと思った瞬間に喧嘩していた。

支援者 A：最近、相手がこう思って言っているんじゃないかと考える姿勢になっていますね。

E さん：変化のきっかけはピアサポーターの話があったから。利用者は、高次脳機能障害や精神障害。相手を変えることはできん、自分の捉え方を変えることを意識するようになっている。自分の感情を抑えようとするので、家に帰って疲れが一気に来る。掃除をあまりせずに、飲み食いでストレス発散している感じ。

F さん：平成6年14歳の時に脳出血。復学進学しても、なかなか覚えられない。世間で知られていない時期なので努力不足と言われた。家族におかしいと言われて、名古屋リハで高次脳機能障害の就労支援を受けて一般企業で過ごした。去年高知に帰り、先週から2つ目の職場、同僚が集まって共通理解の場を作って貰い、合理的配慮について話して貰った。野球の練習はストレス発散になるかなと思っている。

G さん：H22年9月に発症し9年目。入院当時はTVが付けられなかった。軽い右麻痺で、左手で食事していました。就労移行支援と障害者職業センターを利用して、今は2つ目の職場5年くらいになる。新しい挑戦として、茂平マラソンハーフを完走しました。リレーマラソンにも挑戦しました。マラソンは一人ですが、リレーマラソンは仲間と一緒にのが良かったと思います。

支援者 A：今回青い空エース不在の中で、リレーマラソンに参加し、打ち上げにも行きました。走っている間は、なんでこんなことしてるんやろう、しんどい、と思っていたけど、一緒に「疲れたね」「大変やったけどよかった」と声を掛け合えて、応援者もいて、よかった。当事者も支援者も互いにすごいなと思える、お互い様なのかなと思います。

H さん：去年の7月、頭を手術しました。声が聞けなくて、話が出来なくて。みなさんの話を聞きたいけれど、聞けなくてすみません。（失語症がありますが、参加して、自己紹介もしていただきました）

家族 I さん：他県から来た祖母です。自転車と軽自動車との事故。意識がないときは、家族の声や、よさこいの音楽、友達に聞いて好きな音楽を聞かせて、とにかく刺激を与えていました。声がなかなか出なかったので、話せたときは嬉しかった。今は少しふらつくが歩けるようになって。料理や片づけ、ゴミ出しなど、できることはやっている。高次脳機能障害の本を買って、家族で共通理解していけるようにしたい。

J さん：学生です。障害者という自覚をつけていきたいです。元々口数が少ない方ですが、今は声も出ないので、もっと口数が少ないと思います。趣味はよさこい。マラソンもよさそう、高知が大好きです。（主治医に許可を得たら、走りましょう）

K さん：てんかんを起こして、頭を打ちました。病院で字を書いたら誤字脱字があって、高次脳機能障害がわかりました。易怒性、急にキレることがあります。先週からグループホームで生活ができています。

Lさん：リレーマソンはすいません。走るのがしんどくなったのは、普通の道が面白くなくなったということ、山がおもしろい。今日も時間を決めていたのに、高知城が見えたら上がってしまい、遅れました。報告しなかったのは、12月3日から最後の電気屋さん勤めとなりました。自宅から近いし、周りもいい人らです。2013年2月にくも膜下出血になって、障害は、注意、記憶、遂行機能です。全てメモして、仕事場では3つのメモを使い分けています。

家族 Mさん：転職したばかりなので、慣れるまでは色々あるかなと思っています。

支援者 N：リレーマソンはアスリート気分を味わえてよかったです。

Oさん（FAXにて挨拶を頂きました）：皆さんから力を貰っています、もっと早く知っていたらと思うこともあります。令和2年もよろしくお願いします。

Kさん：リハビリテーション講習会では、青い空の人が声を掛けてくれて嬉しかったです。

Aさん：リハビリテーション講習会での支援者がありがとうと言える、という話に感動。自分は当事者の立場で、もし支援者にありがとうと言われる状態になったら、卒業と考えていいのかなと思います。

支援者 A：青い空は事業所として、日中通える場所を作っているが、講習会のテーマのように生活での安全基地の模索を考える必要がありますね。



当事者・家族の会 ご案内

月例会ご案内 日時：1月19日（日）

場所：青い空（参加費：無料）

連絡・相談窓口：NPO法人 脳損傷友の会高知 青い空

就労継続支援B型事業所 青い空(平日 9:30～17:00)

〒780-8040 高知市神田 462-7

Tel : 088-803-4100 Fax : 088-803-4420

青い空携帯 : 090-9450-2990

E-mail : npo-aoisora@snow.ocn.ne.jp

URL : <http://blue-sky-kochi.com/>

女子会ご案内 日時：1月11日（土）

詳細は和田さんにお問い合わせ下さい。

お問合せ：090-3186-6701（和田さん携帯）

つどいご案内 日時：1月25日（土）

場所：つどい処

時間：午前10時～

お問合せ = TEL : 0889-52-2880（つどい処）



当事者・家族の会 入会のご案内

「NPO 法人 脳損傷友の会高知 青い空」は、事故や病気で脳を損傷し、その後遺症として高次脳機能障害をもつ当事者および家族に対して、高次脳機能障害についての正しい知識や情報の提供および社会参加を促進するための事業等を行うことで、当事者の日中活動の場を確保し、当事者・家族が安心して生活できる環境を整え、併せて社会の理解を得るための活動を行うことを目的に設立されました。

当会の趣旨、活動にご賛同いただける当事者・ご家族の皆様、市民の皆様、医療・福祉分野で、ご関係のある個人又は団体の皆様、どうか正会員または賛助会員としてご支援いただければありがたく存じます。

・入会金：10,000円（正会員のみ）・正会員年会費：5,000円・賛助会員会費：3,000円

NPO 法人 脳損傷友の会高知 青い空 〒780-8040 高知県高知市神田 462 番地 7

TEL : 088-803-4100 FAX : 088-803-4420

E-mail : npo-aoisora@snow.ocn.ne.jp

URL : <http://blue-sky-kochi.com/>